

沖縄の魅力が満載！

沖縄本島北部地域の個性豊かな「道の駅」のご紹介

内閣府 沖縄総合事務局 開発建設部 道路管理課

1. はじめに

「道の駅」は平成5年の第1回登録以降、平成28年5月までに全国で1,093駅が登録されています。

沖縄県では、平成6年4月に「道の駅」許田が初めて登録されて以降、現在では、北部地域に4箇所、中部地域に2箇所、南部地域に2箇所と合計8箇所の「道の駅」が登録されております。

「道の駅」は、3つの機能（休憩機能、地域の情報発信機能、地域の連携機能）を有していますが、近年では、まちの特産物や観光資源を活かし、「ひとを呼び、地域にしごとを生み出す」核へと進化しております。

今回、自然豊かな沖縄本島北部地域（通称：やんばる）にある4箇所の道の駅について、観光支援や地域への貢献、新たなニーズへの対応等の取り組みをご紹介します。



沖縄県内「道の駅」の位置図

2. 観光支援

沖縄県を訪れる観光客は平成27年度に過去最高となる約793万人を記録、特に外国人観光客が大幅に増加しております。沖縄観光はレンタカーや観光バス、タクシー等が主流となっておりますが、「道の駅」は駐車場も整備されており、観光案内、休憩所、物産販売所、レストラン等の施設が多くの観光客に利用されています。

平成26年度には、「旅行好きが選ぶ日本全国道の駅トップ20」（旅行口コミサイト「フォートラベル」発表）で、「道の駅」許田が1位、「道の駅」ゆいゆい国頭が16位に、平成27年度「行ってよかった！道の駅ランキング2015」（旅行口コミサイト「トリップアドバイザー」発表）では、「道の駅」許田が5位と、沖縄北部地域からそれぞれランクインしました。



販う店内の様子「道の駅」許田

「県内観光施設の前売り券販売や地元特産品の土産物等、おすすめ品が豊富な道の駅」といった意見が多く、沖縄県内の「道の駅」は、観光客から高い評価を得ているものと思われます。

(1) 観光情報の発信

「道の駅」許田では、北部広域市町村圏事務組合（沖縄県北部 12 市町村で構成された組合）と連携し、観光情報の発信による北部観光の活性化に取り組んでおります。

■観光周遊イメージ図



「道の駅」許田は、沖縄自動車道許田 IC に隣接した立地条件を活かし、北部地域のゲートウェイとして、観光案内人が旬な観光情報を提供、来訪者の個別ニーズに対応した周遊プランの案内が好評です。

また、パンフレットも豊富で北部地域の情報が充実しており、増加する外国人観光客向けの多言語パンフレットも提供しています。



観光案内人による観光情報提供 「道の駅」許田



多言語パンフレット提供 「道の駅」許田

(2) 歴史や文化・自然に関する情報の発信

「道の駅」ゆいゆい国頭では、常設展示場があり、昔の暮らしで使用されていたサバニ（漁船）、漁師道具、古民具等から、地域の生活に触れることができます。また、やんばるの自然や貴重種の紹介も行っており、自然体験施設でのトレッキングツアーや野鳥観察、星空観察などのツアーガイドが人気となっております。

「道の駅」おおぞみでは、大型パネルによる観光案内の他、北部地域で発生している小動物のロードキル（交通事故）を防ぐため、貴重種の出現箇所やロードキル件数をパネルで情報提供し、観光客等のドライバーへ注意喚起を行っています。



常設展示場（資料館）「道の駅」ゆいゆい国頭



ドライバーへ注意喚起 「道の駅」おおぞみ

3. 地域への貢献

北部地域は、自然豊かな環境から豊富な農産物が収穫されますが、地元的新鲜野菜が揃う「道の駅」の農産物直販所は観光客や地元客からも人気で、地域経済にも貢献する等、喜ばれております。一方、農業就業人口の減少及び高齢化といった課題もあるため、道の駅が高齢化した農家の支援や後継者育成につながる取り組みも進めております。

(1) 地元特産品や農産物の販売

「道の駅」ぎのぎでは、地元野菜（宜野座エコ農産物）の積極販売や地元で採れた果物を活用したスイーツ販売が好評を得ており、地産地消の促進やブランド化にむけた取り組みを進めております。



宜野座エコ農産物の販売促進 「道の駅」ぎのぎ

(2) 高齢農業従事者の支援

「道の駅」ゆいゆい国頭では、農産物の集荷作業が困難な高齢農業従事者へ、集荷作業の支援を行っています。また、農産物販売所と農家が、直接取引を行うことで現金収入を得られる場も提供しております。

(3) 地元農林高校との連携

「道の駅」許田では、地元農林高校と連携し、「学校で育てた野菜や果物の販売」や「生徒が栽培したサトウキビを原料とした手作り黒糖の販売」を行う等、農家の後継者不足、担い手不足対策として若者の育成を行っています。



集荷作業支援状況 「道の駅」ゆいゆい国頭



地元農林高校との連携 「道の駅」許田

4. 新たなニーズへの対応

観光客等の多様化するニーズにも対応できるよう、道の駅の機能向上に関する取り組みも進めております。

(1) EV 充電器

EV 充電器は2駅（許田、ゆいゆい国頭）に設置しており、電気自動車の促進にも貢献しています。



EV 充電器設置 「道の駅」ゆいゆい国頭

(2) 道の駅 SPOT (無料公衆無線 LAN)

旅行中にスマートフォンやタブレット端末等を利用して観光情報を入手する観光客が増えていることから、「道の駅」おおぎみと許田の2駅に無料公衆無線 LAN の整備を行いました。旅行者の満足度を高めるため、今後も道の駅 SPOT の拡充を進めていきます。

道の駅 SPOT の整備
「道の駅」おおぎみ

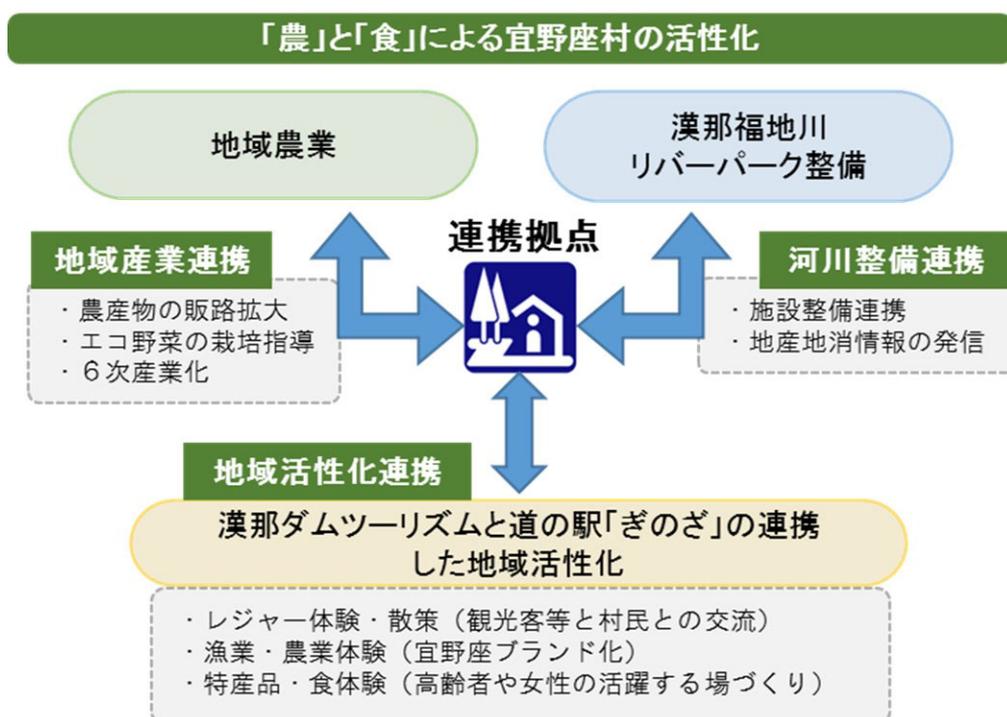


5. 「道の駅」ぎのざが重点「道の駅」に選定！

平成 28 年 1 月 27 日に「道の駅」ぎのざが、「地域活性化の拠点となる優れた企画があり、今後の重点支援で効果的な取り組みが期待できるもの」として認められ、沖縄県初となる重点「道の駅」に選定されました。

重点「道の駅」とは、「道の駅」の機能強化を図るため、地域活性化の拠点となる先駆的な取り組みを重点「道の駅」として国土交通省が選定し、関係機関連携のもと、重点的に支援していくものです。

「道の駅」ぎのざは、宜野座エコ野菜を活用した食育・地産地消活動の促進や 6 次産業化の実施による農家所得の向上等、地域活性化の拠点となる企画が評価されたことから、その実現に向け、現在、推進協議会により、関係機関連携した議論を進めております。





平成 28 年 5 月 10 日 (火) 重点「道の駅」ぎのざ推進協議会

6. 終わりに

全国的に道の駅の知名度があがり、期待が高まる中、ドライバーの休憩施設としてトイレや駐車場を中心に整備が進められてきた「道の駅」も求められる機能や役割が大きく変わってきています。

先述したとおり地域の観光や地域経済の支援などの機能拡充については引き続き取り組んでいくとともに今後は、沖縄北部地域の特徴を活かし、地域に根差した道の駅となるよう、さらなるサービス水準の向上に努め、地域づくりの核となるように取り組んでいく予定です。